小3 計算のじゅんじょ そうごうテスト（その3）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

全12問 100点

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /100

答えは下線に書く（たんいも書く）。式をえらぶ問題は、ぜんぶの数を出す式に○をつける

8点

1 1パックに たまごが 6こ。
1ケースに パックが 6つ。
4ケースで ぜんぶ 何こ？

＿＿＿＿＿＿（たんいも 書こう）

8点

2 3×8×6＝□×6

□＝＿＿＿＿＿＿

8点

3 (2×5)×5＝

＿＿＿＿＿＿

8点

4 8×8×2＝

＿＿＿＿＿＿

8点

5 かごは 8つ。
1ふくろに みかん 7こ。
1かごに ふくろ 4つ。

7×4　7×4×8　7×4+8

8点

6 イは アの 4倍、ウは イの 4倍、
エは ウの 3倍です。
エは アの 何倍？

＿＿＿＿＿＿（倍も 書こう）

8点

7 1はこに えんぴつが 7本。
1ケースに はこが 4つ。
4ケースで ぜんぶ 何本？

＿＿＿＿＿＿（たんいも 書こう）

8点

8 アの ロープは 9m。
イは アの 2倍、ウは イの 7倍。
ウの 長さは？

＿＿＿＿＿＿（たんいも 書こう）

9点

9 2×6×9＝

＿＿＿＿＿＿

9点

10 1パックに いちご 6こ。
1人に パックを 5つずつ。
子どもは 7人。

7×(5×6)　(7×5)+6　7×5

9点

11 3×(6×5)＝

＿＿＿＿＿＿

9点

12 7×7×4＝□×(7×4)

□＝＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「小3の計算のじゅんじょ」のプリント一覧がひらきます

小3 計算のじゅんじょ そうごうテスト（その3）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

全12問 100点

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /100

つまずき① 前から順にかける

2問とも×→つまずき 1問だけ×→うっかりかも

問4 128

8×8×2

よくある×：64

8×8＝64

64×2＝128

問9 108

2×6×9

よくある×：12

2×6＝12

12×9＝108

つまずき：3つの数を一度にかけようとして、途中の答えを次の計算に使わず、2つだけかけて終える

まちがえたら→「練習プリント①」→「とっくんドリル①」

問4の考え方：前の2つを先にかける。8×8＝64

その答えに2をかける。64×2＝128

つまずき② ( )の中を先にかける

2問とも×→つまずき 1問だけ×→うっかりかも

問3 50

(2×5)×5

よくある×：35

( )の中 2×5＝10

10×5＝50

問11 90

3×(6×5)

よくある×：33

( )の中 6×5＝30

3×30＝90

つまずき：かっこの中をかけ算でなくたし算にして、かっこの中を先に計算しても答えがちがってしまう

まちがえたら→「練習プリント②」→「とっくんドリル①」

問3の考え方：かっこの中を先にかける。2×5＝10

10×5＝50

つまずき③ □に入る数（かっこ・順をかえる）

2問とも×→つまずき 1問だけ×→うっかりかも

問2 24

3×8×6＝□×6

よくある×：144

3×8＝24（前の2つ）

□＝24

問12 7

7×7×4＝□×(7×4)

よくある×：196

( )の中は 7×4

( )の外は 7 → □＝7

つまずき：かっこの場所や順番がかわると答えもかわると思い、全部を計算して、全体の答えを□に書く

まちがえたら→「練習プリント③」→「とっくんドリル②」

問2の考え方：前の2つをまとめた答えが□

つまずき④ ○倍の○倍をまとめる

2問とも×→つまずき 1問だけ×→うっかりかも

問6 48倍

イはアの4倍、ウはイの4倍、エはウの3倍。エはアの何倍

よくある×：11倍

4×4×3＝48

→ 48倍

問8 126m

アは9m、イはアの2倍、ウはイの7倍。ウの長さ

よくある×：81m

2×7＝14（14倍）

9×14＝126m

つまずき：2つの倍を、かけ算でなくたし算でまとめてしまう

まちがえたら→「練習プリント④」→「とっくんドリル②」

問6の考え方：倍と倍はかけ算でまとめる

4×4×3＝48（アの48倍）

つまずき⑤ ふくろ入りの箱の数

2問とも×→つまずき 1問だけ×→うっかりかも

問1 144こ

1パックにたまご6こ、1ケースにパック6つ、4ケース

よくある×：36こ

1ケース分 6×6＝36こ

36×4＝144こ

問7 112本

1はこにえんぴつ7本、1ケースにはこ4つ、4ケース

よくある×：28本

1ケース分 7×4＝28本

28×4＝112本

つまずき：3つの数のどれとどれをかけるか分からず、2つの数だけかけて終える

まちがえたら→「練習プリント⑤」→「とっくんドリル③」

問1の考え方：先に1ケース分の数を出す。6×6＝36こ

ケースの数をかける。36×4＝144こ

つまずき⑥ 場面を1つの式にする

2問とも×→つまずき 1問だけ×→うっかりかも

問5 7×4×8

1ふくろにみかん7こ、1かごにふくろ4つ、かごは8つ

よくある×：7×4＋8

1かご分 7×4＝28こ

28×8＝224こ

問10 7×(5×6)

子ども7人、1人にパック5つ、1パックにいちご6こ

よくある×：(7×5)＋6

1人分 5×6＝30こ

7×30＝210こ

つまずき：お話の数をならべるだけで、1つ分にあたる2つの数をまとめた式にできない

まちがえたら→「練習プリント⑥」→「とっくんドリル③」

問5の考え方：お話の3つの数を、ぜんぶかける。7×4×8（かける順はどこからでも同じ）